

市の役割を果たすための取組事項の取組状況

C・D・E評価分(令和3年度実績)

評価の基準

- C 計画どおり取り組んでいるが、成果が上がっていない
- D 一部取り組んでいるが停滞している
- E 取組に至っておらず停滞している

令和5年3月

基本方針1 支え合い助け合う地域づくり(基本施策1 地域福祉意識の高揚と担い手育成)

取組項目-1 地域ボランティア人材の確保・育成(1-1-1)

(取組の方向性)

情報提供や活動場所の支援を行うことにより、地域福祉活動を行うための環境づくりを支援します。

区分	番号	内 容	評価
市の役割	2	ボランティアニーズの把握に努めます。	
取組計画	2 2	介護保険施設以外の活動場所の拡大・内容検討	C
	2 3	ボランティア講座に代わる内容を検討	C
取組実績	2 2 3	まちづくり協議会地域福祉部会(高野・北守谷地区)又は役員会(大野・みずき野・大井沢・守谷地区)に社会福祉協議会、健幸長寿課、地域包括支援センターの各職員が出席し、各地区の取組計画などを確認しました。 また、「認知症高齢者声かけ模擬訓練」(認知症高齢者等を理解し、地域の見守り等を目指す活動)の取組について説明をしました。高野地区及び大野地区において、認知症高齢者声かけ模擬訓練を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から高野地区の開催は中止となり、大野地区のみ開催しました。	
区分	番号	内 容	評価
市の役割	4	地域の支え合い・助け合い等の地域福祉活動に取り組む(仮称)地域福祉活動協力員制度の導入を進めます。	
取組計画	4 1	地域で支え合いの活動を行うまちづくり協議会が設立されるため、庁内関係課等で再調整を行う (地域福祉活動協力員制度の必要性について検討)	D
	4 2	まちづくり協議会福祉部会等が設立した地域から、地域で支え合いの活動が推進できるよう、関係課及び社会福祉協議会と既存事業との再調整を行う	C
取組実績	4 1	会員相互の生活支援等サービスの提供システムとして実施している社会福祉協議会のほほえみサービスを支え合い活動の一つとして、周知・推進しました。	
	4 2	各地区のまちづくり協議会に社会福祉協議会、健幸長寿課、地域包括支援センターが参加し、高齢者の現状等について情報共有を行い、支え合い活動が推進されるよう「認知症声かけ訓練」について説明しました。 大野地区は2月、3月で認知症声かけ訓練に向けた取組をしています。(2月16日認知症サポーター養成講座、3月12日認知症声かけ訓練をそれぞれ実施しました。)	

基本方針1 支え合い助け合う地域づくり(基本施策2 地域福祉活動の支援)

取組項目-3 地域担当職員制度による支援(1-2-3)

(取組の方向性)

地域担当職員制度により、地域への必要な情報を提供することで地域の福祉活動を支援します。

区分	番号	内 容	評価
市の役割	18	地域の実情に応じた地域担当職員の役割分担などを検証し、地域担当職員制度が有効に活用できるよう取り組み、地域の課題解決に向けた地域活動を支援します。	
取組計画	18 1	まちづくり協議会において、協議体としての機能確立していくために、地域の支え合い・助け合い活動を支援するため配置している地域包括支援センター職員及び社協職員の役割を明確にして、地域の支え合い・助け合い活動を推進していく	C
取組実績	18 1	守谷市まちづくり協議会において、協議体としての機能確立していくために、地域の支え合い・助け合い活動を支援するため配置している守谷市地域包括支援センター職員及び社協職員の役割を明確にして、地域の支え合い・助け合い活動を推進しています。	

取組項目-4 交流する場の創出支援(1-2-4)

(取組の方向性)

身近なところで気軽に交流できる場や、同じ悩みを持った人々が悩みを共有する場、生きがいづくりや仲間づくりができる場を充実させることにより、地域における孤立感や不安の解消と交流の促進を図ります。

区分	番号	内 容	評価
市の役割	19	地域における居場所、交流の場(サロンの拡充を含む)づくりを支援します。	
取組計画	19 5	各地域において、新制度について周知することで活用を促す	C
取組実績	19 5	自治公民館建設補助金を活用し、3団体が既存の自治公民館の修繕を行いました。空き家等活用コミュニティ推進事業助成金は、5団体が活用しており、その内、4団体は自治会・町内会で、地域活動を実施しています。地域活動のための施設等使用料助成金は、3団体で13回の利用がありました。	
市の役割	20	活動拠点となる施設については、既存の公民館や集会所などを有効活用できるよう支援します。	
取組計画	20 1	継続して新制度により、地域の居場所、交流の場づくりを支援する	C
取組実績	20 1	守谷市自治公民館建設補助金を活用し、3団体が既存の自治公民館の修繕を行いました。空き家等活用コミュニティ推進事業助成金は、5団体が活用しており、その内、4団体は自治会・町内会で、地域活動を実施しています。地域活動のための施設等使用料助成金は、3団体で13回の利用がありました。	

基本方針1 支え合い助け合う地域づくり(基本施策3 支え合い体制の形成)

取組項目-1 見守り体制の形成(1-3-1)

(取組の方向性)

子ども、障がい者及び高齢者を見守るため、地域による見守り活動に取り組みます。

区分	番号	内 容	評価
市の役割	21	地域の支え合い・助け合い等の地域福祉活動に取り組む(仮称)地域福祉活動協力員制度を導入します。	
取組計画	21 1	地域福祉活動協力員制度の開始に向けて、各まちづくり協議会の理解を得る。	D
	21 2	まちづくり協議会福祉部会等が設立した地域から、地域で支え合いの活動が推進できるよう、関係課及び社会福祉協議会と既存事業との再調整を行う。	C
取組実績	21 1	会員相互の生活支援等サービスの提供システムとして実施している社会福祉協議会のほほえみサービスを支え合い活動の一つとして、周知・推進して参りました。	
	21 2	各地区のまちづくり協議会に社会福祉協議会、健幸長寿課、地域包括支援センターが参加し、高齢者の現状等について情報共有を行い、支え合い活動が推進されるよう「認知症高齢者声かけ模擬訓練」について説明しました。 大野地区は2月、3月に認知症高齢者声かけ模擬訓練に向けた取組を実施しました(2月16日認知症サポーター養成講座、3月12日認知症高齢者声かけ模擬訓練)。	

取組項目-2 生活支援サービスの整備(1-3-2)

(取組の方向性)

高齢者や障がい者等の在宅での日常生活上の困りごとを的確に把握し、地域の特性に応じた日常の生活支援を支え合い・助け合いで行えるよう、生活支援サービスの整備に努めます。

区分	番号	内 容	評価
市の役割	27	生活支援サービスを担う多様な団体等により行われる定期的な情報共有の場として協議体を設置します。	
取組計画	27	1 まちづくり協議会福祉部会設立の状況に応じた働き掛けを行い、支え合いの活動につなげていく。活動に結び付いた地区に対しては活動支援を行う。	C
	27	2 全地区にまちづくり協議会(福祉部会)が設立した後、市民協働推進課との協働で、各地区での課題やニーズを共有する話し合いを実施する。	C
取組実績	27	1 各地区のまちづくり協議会に社会福祉協議会、健幸長寿課、地域包括支援センターの各職員が出席し、高齢者の現状等について情報共有を行い、支え合い活動が推進されるよう「認知症高齢者声かけ模擬訓練」について説明しました、大野地区は2月、3月で認知症高齢者声かけ模擬訓練に向けた取組を実施しました(2月16日認知症サポーター養成講座、3月12日認知症高齢者声かけ模擬訓練)。	
	27	2 まちづくり協議会地域福祉部会(高野・北守谷地区)又は役員会(大野・みずき野・大井沢・守谷地区)に社会福祉協議会、健幸長寿課職員、地域包括支援センターが出席し、各地区の取組計画などを確認しました。 また、「認知症高齢者声かけ模擬訓練」(認知症高齢者等を理解し、地域の見守り等を指す活動)の取組について説明をしました。高野地区及び大野地区において、認知症高齢者声かけ模擬訓練を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から高野地区の開催は中止となり、大野地区のみ実施しました(3月12日)。	
市の役割	33	生活支援サービスの仕組みの一つとして、有償ボランティア制度の構築に取り組みます。	
取組計画	33	1 地域での支え合い活動の動向を踏まえ、ほほえみサービス等有償ボランティア活動や総合事業等のあり方を検討し、新たな取組を検討する	D
取組実績	33	1 介護予防・日常生活サービス事業(総合事業)等のあり方について情報収集を行い、担当課で検討しましたが、サービスの受け皿についての課題があり事業の構築まで至りませんでした	
市の役割	34	市民が能力を生かし、生活支援サービスの担い手として社会参加できるよう働きかけます。	
取組計画	34	2 関係機関(社会福祉協議会、健幸長寿課、シルバー人材センター等)と意見交換を実施し、取組計画を立案する	D
取組実績	34	2 関係機関(社会福祉協議会、健幸長寿課、シルバー人材センター等)と意見交換及び取組計画の立案までは至りませんでした。	

基本方針2 生きがいを感じ健やかに暮らせる地域づくり(基本施策1 生きがい活動への支援)

取組項目-1 高齢者の生きがい支援(2-1-1)

(取組の方向性)

高齢者が地域において、地域福祉活動の担い手となるよう参加を促すとともに、自治会・町内会、シニアクラブ、サロンの活動の活性化、生涯学習への参加を支援します。

区分	番号	内 容	評価
市の役割	37	シニアクラブやサロンの立ち上げ活動を支援します。	
取組計画	37	1 サロン空白地帯のサロン設立を調整し、設立を推進する。	D
取組実績	37	1 各地区まちづくり協議会等において、サロン開設について話し合いまでには至りませんでした。北守谷地区まちづくり協議会では居場所づくりの話題が出ています。	

基本方針2 生きがいを感じ健やかに暮らせる地域づくり(基本施策2 健康づくり意識の向上)

取組項目-3 こころの健康の推進(2-2-3)

(取組の方向性)

こころの健康に関する情報を周知するとともに、「こころの健康」相談窓口を充実します。

区分	番号	内 容	評価
市の役割	62	地域の人が参加しやすい出前講座を開催します。	
取組計画	62	1 関連団体に対し、出前講座の周知を図る。ボランティアへの学習会を実施する。	D
取組実績	62	1 ・市ホームページや、全戸配布の保健センター予定表にて、出前講座について情報提供しました。 ・出前講座の依頼がなかったため、実施していません。	

基本方針4 安心して暮らせる地域づくり(基本施策1 防災・防犯対策等の充実)

取組項目-1 避難行動要支援者登録制度の周知と支援体制の充実(4-1-1)

(取組の方向性)

避難行動要支援者登録制度の更なる周知、普及を図り、災害時に地域の中で必要な支援が受けられる体制を目指します。

区分	番号	内 容	評価
市の役割	75	災害時は、市からのメールもりやをはじめ、多様な伝達手段により自治会・町内会を通じた対象地域への連絡網等による情報伝達に努めます。	
取組計画	75 1	市民生活総合支援アプリ「Morinfo(防災版)」を改良し、防災訓練及び災害時に活用する	C
取組実績	75 1	・Morinfo(防災版)の災害対応機能に避難所の開設情報が得られるようシステムを改良しました。新型コロナウイルス感染拡大対策のため防災訓練を縮小したため、「Morinfo(防災版)」を活用した情報伝達訓練を含めた避難所訓練は実施しませんでした。	
市の役割	76	避難支援活動に協力する自治会・町内会を増やします。	
	77	避難支援活動に協力する自治会・町内会を支援します。	
	78	避難行動要支援者登録制度の周知及び普及を図ります。	
取組計画	76 1 77 1 78 1	引き続き、避難行動要支援者名簿の更新、関係者への交付を継続しながら、同意確認がとれない要支援者や、協力いただいていない町内会・自治会に対し、避難行動要支援者登録制度への理解が得られるように働きかけを強化し、周知と普及を図りました。	C
取組実績	76 1 77 1 78 1	避難行動要支援者名簿を年2回更新し、要支援者の支援に協力いただける町内会・自治会や民生委員に交付しました。また、不同意者への同意勧奨通知や不受理町内会・自治会に対する名簿の受領勧奨通知を発出しました。	

取組項目-3 地域防犯体制(子どもの見守り等)の充実(4-1-3)

(取組の方向性)

市と関係機関・団体、地域が連携し、犯罪防止の体制づくりを推進します。

区分	番号	内 容	評価
市の役割	83	防犯キャンペーン・防犯パトロールなどを通じて、市民の防犯意識の高揚に努めます。	
取組計画	83 1	合同パトロールを年二回実施できるようにし、参加団体と交番との信頼関係を構築し、防犯活動の向上を図る	C
取組実績	83 1	合同パトロールを定期的に実施できるようにし、参加団体と警察との信頼関係を構築し、防犯活動の向上を図りました。 (新型コロナウイルス感染拡大対策で参加者数は計画値を大きく下回りました。)	
市の役割	84	メールもりや、SNS、ホームページ及び広報もりやを通して、防犯情報を提供します。	
取組計画	84 1	「Morinfo(もりんふお)」の発信情報を見やすくなるよう適宜改善していく	C
取組実績	84 1	「Morinfo」の防犯情報を活用し、適宜情報提供を行いました。	
市の役割	87	不審者等の情報は、速やかな保護者への周知と全校での共有に引き続き努めます。	
取組計画	87 1	タイムリーな犯罪情報を警察・県・市内交番から提供をもらい「Morinfo(もりんふお)」等で発信する	C
取組実績	87 1	適宜タイムリーな情報提供に合わせて、メールもりや・Morinfo(もりんふお)等の媒体を活用した配信を行いました。	